

西表島の未来のため



西表財団を立ち上げます

私たち「西表財団設立準備会」は、西表島の世界自然遺産の登録をきっかけとして、西表島の自然環境とその自然と寄り添う文化や営みを守る組織『西表財団』の設立を目指しています。

設立準備会はいつできたの？ だれが参加しているの？

以前より、観光利用による自然や住民生活の影響を抑えることなどを目的に西表財団の必要性が「西表島部会※」などの場で話されてきました。これを受けて、竹富町と環境省が事務局となり、地元関係者などで構成される「西表財団設立準備会」が令和2年12月に立ち上がりました。準備会には、行政機関、地元有志、関係団体、有識者等の約50名が参加し、財団設立の準備を進めています。

※世界自然遺産の候補地でもある西表島の自然をどのように守っていくかを話し合う地元関係者が集まる場

西表財団はどうして必要なの？

西表島にはイリオモテヤマネコに代表される世界的にも貴重な動植物が数多く生息・生育しています。しかし、近年は島を訪れる観光客の増加や、特定の場所への利用者の集中、さらには海岸に流れ着くゴミの増加など、西表島の豊かな自然や島の人々の暮らしにも影響が出はじめています。

ロードキル



利用者の集中



漂着ゴミ



密猟・盗掘



自然の荒廃



これらの西表島で起きている問題を、さらに今後起こり得る問題を解決するためには、そこにまとを絞った専門の組織が必要です。様々な問題・課題にスピーディに対応し、島民と行政、島外の方々の間に立って調整できるのは、島のことを常に注意深く見守ることのできる地元組織（財団）以外にはないと考えています。国内の世界自然遺産の先進地である屋久島や知床にも財団があり、地域の中で重要な役割を担っています。西表島の自然と文化を将来にわたってまもっていくためには『西表財団』が必要なのです。

西表財団は何をするの？

西表財団は、島の自然と伝統的な文化や営みを守り、島を持続的に発展させるために、「自然環境の保全・管理」、「人材の育成・派遣」、「西表島の自然や社会に関する情報の蓄積・発信」など、幅広い事業を行っていきたいと考えています。

その中で世界自然遺産に登録されようという今、**観光利用による自然環境や住民生活への影響を抑えるために『適正な観光管理』**をいち早く実現することが、最初のミッションだと考えています。そのため西表財団は、まず最初に以下のような活動から取り組みを始めていきます。

野生動物のロードキル対策
(道路脇の草刈り活動等)



利用ルールの啓発
(巡視・周知・講習活動等)



観光利用による自然環境への影響を
把握するためのモニタリング



財団の体制はどうなっているの？

財団運営の舵を取る「役員（評議員・理事など）」と、実務を担う「職員（事務局長、事務系職員、技術系職員など）」で構成されます。現在、役員や職員の選定を進めています。

資金はどうやって集めるの？ いくら必要なの？

一般財団法人の設立には「基本財産（最低300万円）」が必須で、それに「当初の運営資金（人件費や資材購入などの1700万円程度）」を合わせると「**合計2,000万円**」が必要です。この資金は竹富町を始めとした設立準備会が拠出する資金とともに、**クラウドファンディング**や**竹富町企業版ふるさと納税**などを活用し寄付金を募集していきます。※寄付金募集については事務局にお問い合わせいただくか、右のQRコードからご覧ください。

寄付金募集
リーフレット



西表財団はいつ設立する予定？

今年（2021年）秋までの設立を目指しています。設立から当面の間、財団の拠点（事務所）は大原の竹富町離島総合センター内に置く予定です。設立に向けての進捗状況はニュースレターや竹富町ウェブサイトなどを通してみなさんにお知らせしていきます。

西表島の持続可能な発展（西表島におけるSDGsの実現）に向けて新しくはじまるこのチャレンジに、島民の皆さまのご理解と応援を何卒よろしくお願いいたします。

「一般財団法人西表財団」設立準備会
会長 大浜知司
事務局 竹富町世界遺産推進室
環境省西表自然保護官事務所

【連絡先】〒907-8593 沖縄県石垣市美崎町11番地1
TEL：0980-83-1306 FAX：0980-82-6199
e-mail：iriomote.foundation@gmail.com
竹富町世界遺産推進室 担当：通事・仲盛・安生

